

斑鳩町文化振興センター及び町立図書館空調設備更新工事 特記仕様書

1. 工事概要

- 工事名称：斑鳩町文化振興センター及び町立図書館空調設備更新工事
- 工事場所：斑鳩町文化振興センター（通称：いかるがホール）及び町立図書館
奈良県生駒郡斑鳩町興留10丁目6番43号

2. 工事内容

- 斑鳩町文化振興センター
 - ・空調機改修工事 一式
 - ・その他工事 一式
- 斑鳩町立図書館
 - ・空調設備更新工事 一式
 - ・その他工事 一式

3. 工事仕様

- 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書（各編）」及び「公共建築設備工事標準仕様書（各編）」の最新版による。
- 本工事に必要な官公署・電気事業者等への諸申請手続きは請負人が代行し、それに要する費用も負担のこと。

4. 施工日時

- 工期：令和7年4月28日 ～ 令和7年12月26日
- ※斑鳩町文化振興センターの現場指定施工期間は、10月下旬頃から11月頃とし、斑鳩町立図書館の現場指定施工期間は、6月から7月初旬とし、監督員の指示に従うものとする。
- なお、監督員の承認を得れば指定施工期間外の現場施工を可とする。

5. 条件

- 設計図書記載のメーカー及び品番については、仮に参考メーカーを決め設計したものであり、メーカーを指定したのではなく、機器等の性能を満足できるもの（同等品以上で後継機種も可とする）を使用することとする。尚、使用機器・材料については、承認図（施工図を含む）を添付した承認申請により監督職員の承認を得ることとする。
- 現場の納まり・取り合わせ等の関係で、材料の寸法・取付位置又は取付寸法を変更、あるいは、これらによって取付材料の材質、数量を幾分変更するなどの軽微な変更は、監督員の指示によってこれを行う。この場合、契約金額は変更しない。

- 完成図：A 3 二つ折り製本（厚紙表紙黒文字） 2 部
A 4 ファイル綴じ 1 部
図面（C A D 及び P D F）・写真データは C D 等の記録メディアにて提出

6. 留意事項

- 機器等の納入前に、納入予定の仕様書、スケジュール、体制表、工程表について、書面を持って監督員に事前に承諾を得ること。
- 工事についてはいかるがホール及び図書館の業務、利用者の安全確保及び支障がないように配慮して計画的に行うこと。また該当施設に損傷を与えないように十分に注意すること。万が一施設等に損傷を与えた場合は受注者の負担において現状復帰すること。
- 撤去品の処分においては、関連法令に従って適切な処理を行うこと。業務完了後は産業廃棄物管理表（マニフェスト）の写しを監督員に提出すること。

7. 保守体制

- 施工後、1 年以内に発生した機器の故障に対しては保証期間として無償で修理又は交換の対応を行うこと。
- 機器の故障、不具合の発生時には迅速に対応すること。その為の機器の性能維持及びメンテナンスについて万全の体制をとること。

8. その他

○斑鳩町文化振興センター

- ・搬入、据付、配線、調整、その他必要な全ての内容、費用は本業務に含まれる。
- ・本仕様書に明記がない事項については、監督員と協議の上で良心的に対応すること。
- ・本業務を行うに際し知り得た情報は第三者に漏らしてはならない。
- ・アスベストの事前調査を行い、結果を電子システムで報告すること。アスベスト含有時の対策処置については、別途費用とする。
- ・レッカー作業時は誘導員を見込むこと。
- ・現場確認が必要な場合は、事前に連絡すること。

○斑鳩町立図書館

- ・本工事の施工にあたっては、施設休館し、施設の休館日は可能とする。
- ・既設冷媒配管、ドレン配管、ダクト、連絡配線及び電源配線は再利用する。
- ・既設配管は流用するので既設配管の耐圧試験を行うこと。
- ・必要に応じて、配管洗浄を行うこと。
- ・室外機基礎は再利用する。
- ・室外機設置部上部の防鳥ネットの取外し、復旧は見込むこと。
- ・室外機搬出入時のネットフェンスの一時取外し、復旧は見込むこと。

- ・ 室外機の耐震計算書を監督員へ提出すること。
- ・ 室外機の設置には、防振ゴムを使用すること。
- ・ 室内機の設置には、揺れ止めを施したものとすること。
- ・ 室内の保温は、O A ・ S A ・ R A の断熱は行うこと。
- ・ アスベストの事前調査を行い、結果を電子システムで報告すること。アスベスト含有時の対策処置については、別途費用とする。
- ・ ブレーカー交換は、盤内停電作業とする。
- ・ 電気工事は建物内分電盤から二次側のみとし、一次工事は別途とする。
- ・ 電線管の接続部分は、プルボックスを使用しジョイントを行うこと。
- ・ 施設内の本が汚れないよう十分養生を行うこと。
- ・ レッカー作業時は誘導員を見込むこと。
- ・ 建物館内は、無火気工法にて施工を行うこと。
- ・ 撤去は工事に支障のある箇所のみとし、それ以外は残置とする。
- ・ 常時遠隔による運転状態の監視・点検・故障の予知をできる機器を選定すること。
- ・ 現場確認が必要な場合は、事前に連絡すること。